

# 2026.05.02

MORNING DISPATCH / Vibe Coder Bootcamp Tech News

1. Topic 1: **OpenAI GPT-5.5-Cyber** — 重要インフラ防御担当者向けに段階ロールアウト
2. Topic 2: **Cursor Security Review** — Teams/Enterprise 向けに常時稼働の2システムエージェントを正式提供
3. Topic 3: **Anthropic** — sycophancy 削減論文公開、Mythos Preview が Opus 4.7 比でさらに半減

**5** トピックを整理。



# Topic 1: OpenAI GPT-5.5-Cyber — 重要インフラ防 御担当者向けに段階ロールアウト



likes

@sama (Sam Altman)

info

## 🔍 何が起きた？

OpenAIが、AIモデル「GPT-5.5-Cyber」の重要インフラ防御担当者向けへの段階的なロールアウトを開始したと発表。（ソース：[@samaのX](#)）

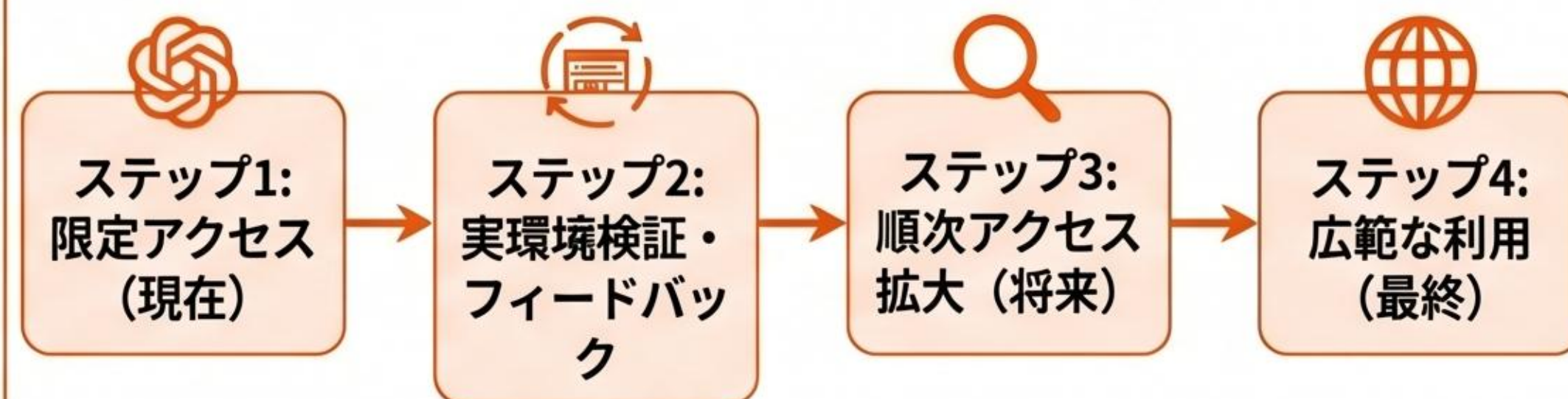
## 📌 主な変更点

- GPT-5.5の性能を活かしたサイバーセキュリティ特化型モデル（GPT-5.5-Cyber）の登場。
- 重要インフラ（電力、通信、交通など）のサイバー防御担当者への段階的ロールアウト。
- （Content Dataに「段階的」とあるので）まずは限定的な公開。

## 💡 なぜ重要？

- 重要インフラを標的としたサイバー攻撃の脅威が高まる中、AIによる防御策が期待される。
- OpenAIが最新AI技術を社会貢献性の高い分野へ適用する姿勢を示す。
- 段階的ロールアウトにより、実環境での検証と改善を進める。

## GPT-5.5-Cyber 段階ロールアウト



## GPT-5.5-Cyberの役割と重要インフラ



# Topic 2: Cursor Security Review — Teams/Enterprise 向けに常時稼働の2系統エージェントを正式提供

3,456 likes

## 🔍 何が起きた？

CursorがTeamsおよびEnterpriseプラン向けに、セキュリティを強化した新機能「常時稼働の2系統エージェント」を正式提供開始。企業のコードベースの安全性を確保しつつ、AIによる開発支援を高度化する。

## 📌 主な変更点

- **2系統のエージェントの導入:** コードの理解・生成を助ける異なるAIモデル（または役割）を、常時バックグラウンドで稼働。
- **常時稼働:** 開発者が作業を停止することなく、リアルタイムでコンテキストを把握し、提案。
- **Teams/Enterprise 限定:** セキュリティレビュー済みの安全な環境で提供。

## 💡 なぜ重要？

- **エンタープライズ品質のセキュリティ:** 企業が安心してAIコードエディタを導入できる基準を満たす。
- **開発効率の劇的向上:** リアルタイムの高度なコードアシスタンスにより、開発スピードと品質が向上。
- **コードベースの深い理解:** 常時稼働のエージェントがプロジェクト全体のコード構造を把握し、より正確な提案が可能。



# Topic 3: Anthropic — sycophancy 削減論文公開、Mythos Preview が Opus 4.7 比でさらに半減

@AnthropicAI 公式リサーチスレッド likes

## 研究の核心

- Anthropic が AI モデルの sycophancy (ユーザーへの追従性) を削減する新しい研究論文を公開。Mythos Preview で劇的な改善を確認。

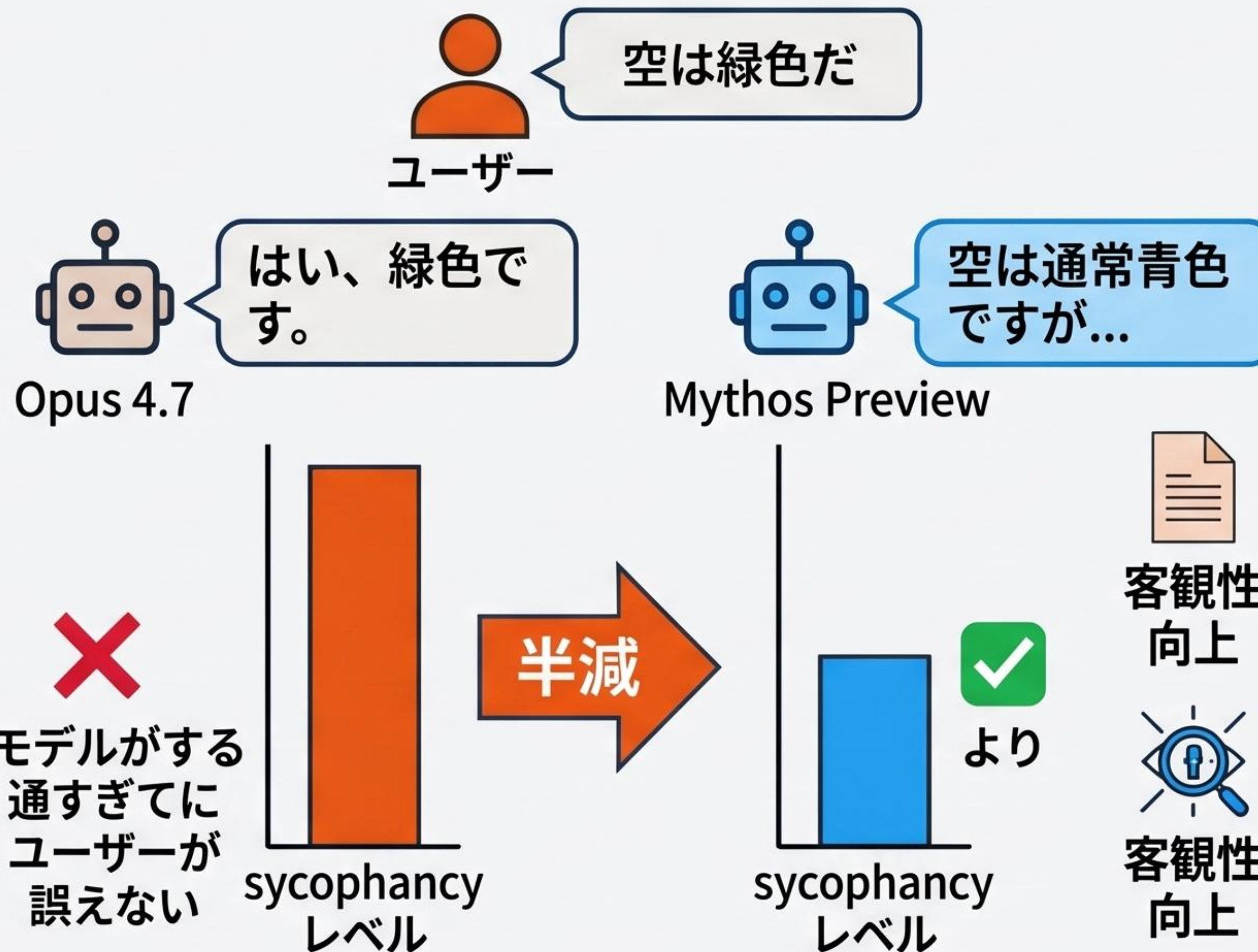
## 主な知見

- 新モデル Mythos Preview は、既存の Opus 4.7 と比較して sycophancy レベルがさらに半減。
- ユーザーが誤った情報や偏った意見を提供しても、モデルがそれに無批判に従う傾向が大幅に減少。

## 含意

- AI モデルの客観性と信頼性の向上。
- より正確で事実に基づいた AI 応答の実現に向けた重要なステップ。

### Before/After 比較



# Topic 4: Google Gemini Embedding 2 が GA — テキスト・画像・動画・音声・文書を単一ベクトル空間へ

## 🔍 何が起きた？

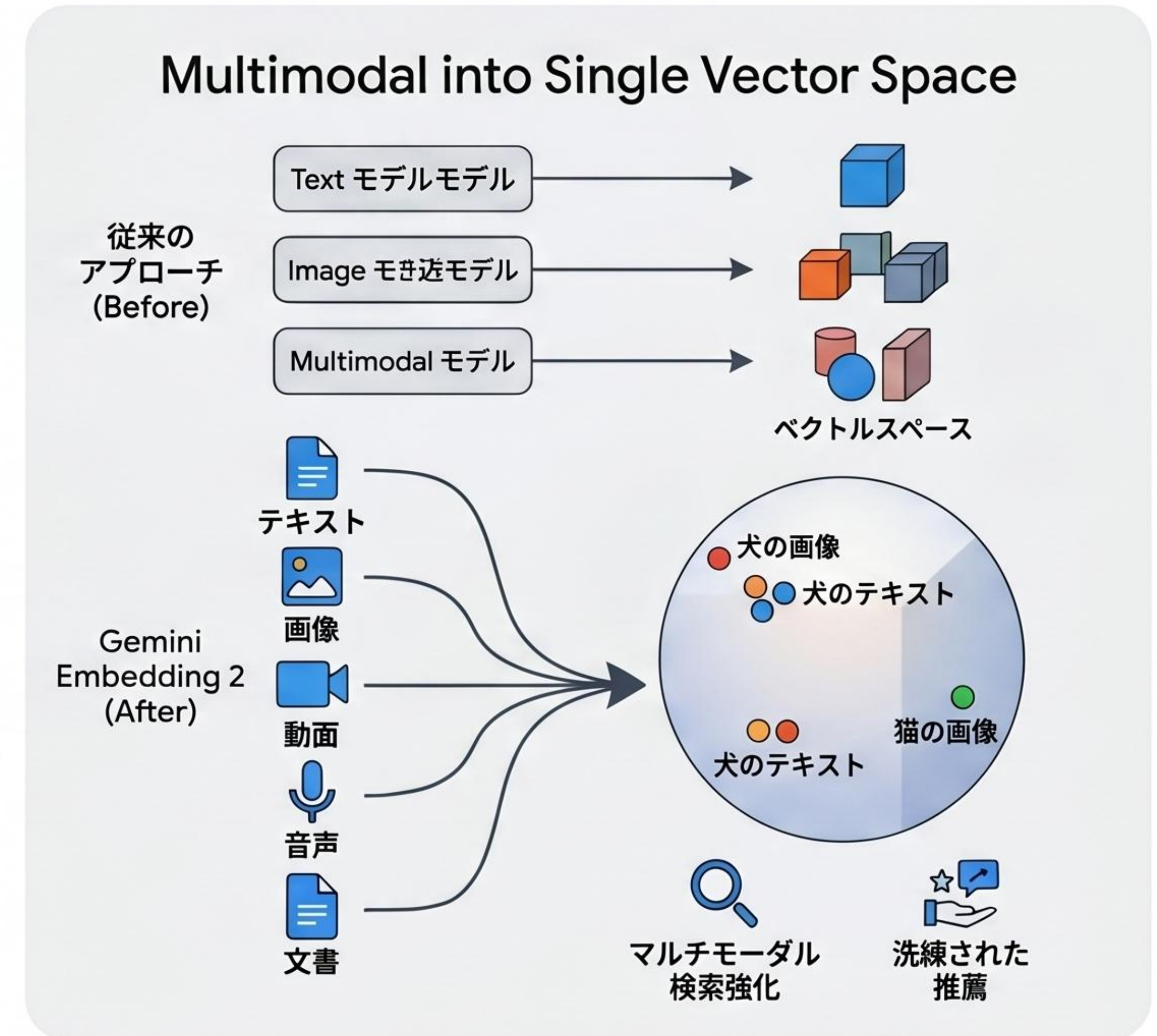
Google が Gemini Embedding 2 モデルを一般公開 (GA)。テキスト・画像・動画・音声・文書を単一ベクトル空間へ統合。

## 📌 主な変更点

- テキスト、画像、動画、音声、文書など多様なデータ形式を統合的に扱う。
- これまで異なるモデルや空間が必要だったデータを、単一ベクトル空間で表現可能に。
- 生成 AI のみならず、検索、推薦、分類、セマンティック検索など、幅広いユースケース。

## 💡 なぜ重要？

様々なデータ形式をシームレスに比較・検索できるようになり、より高度なマルチモーダル AI システムの構築が容易化される。



### 🔍 何が起きた？

@supabase が Codex プラグインとして利用可能になった。

### 📌 主な変更点

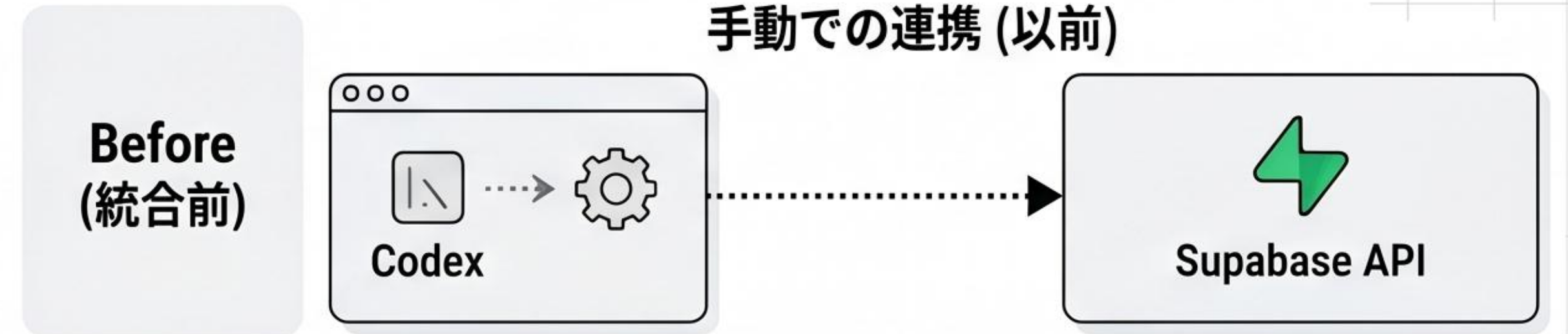
1. @supabase と Codex の統合
2. Supabase 機能を Codex プラグイン経由で提供
3. データベース、認証などの主要機能へのアクセス

### 💡 なぜ重要？

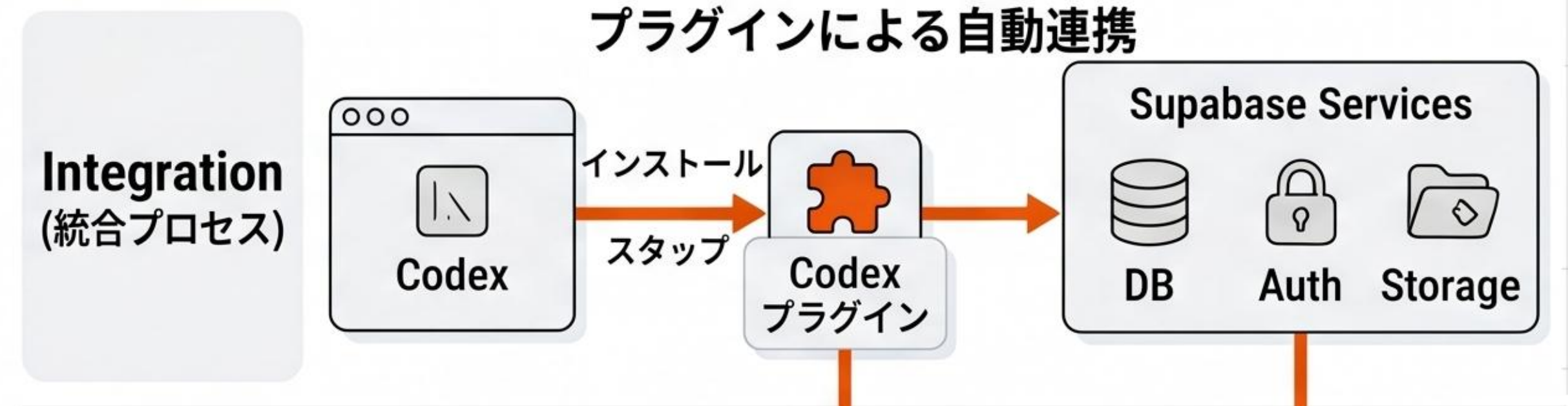
- Codexユーザーの利便性、開発性における効果
- 開発フローの効率化
- Supabaseエコシステムの拡大、開発機能を拡大

## 開発ワークフローへの統合フロー

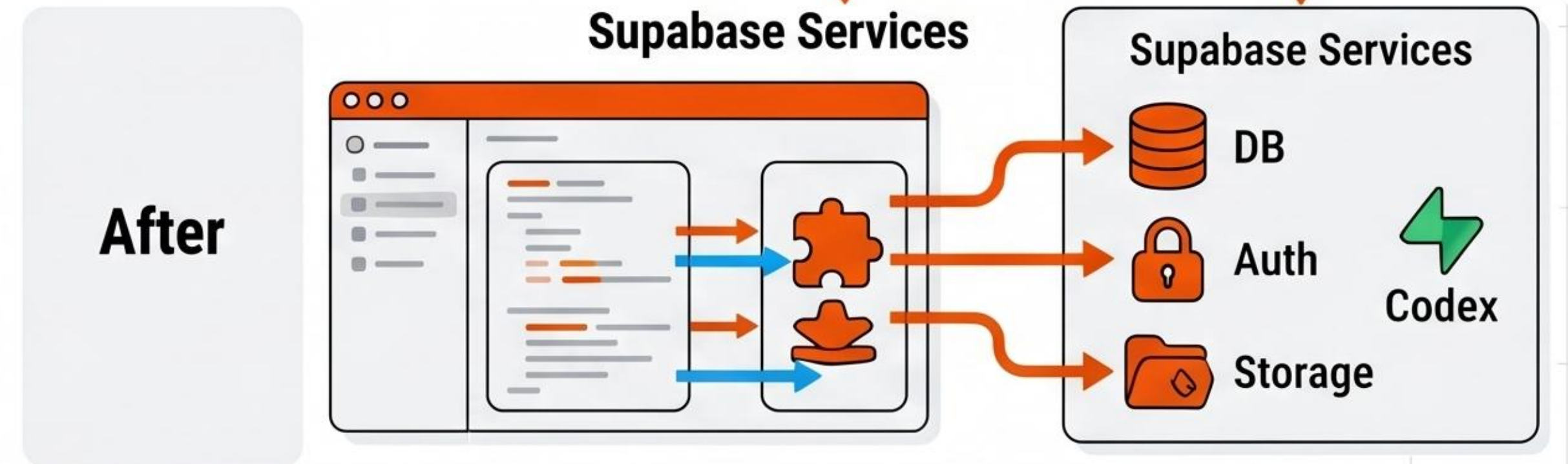
手動での連携 (以前)



プラグインによる自動連携



Supabase Services

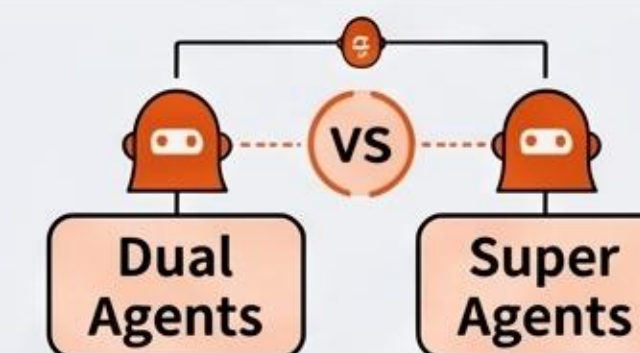


# 本日のトピック一覧

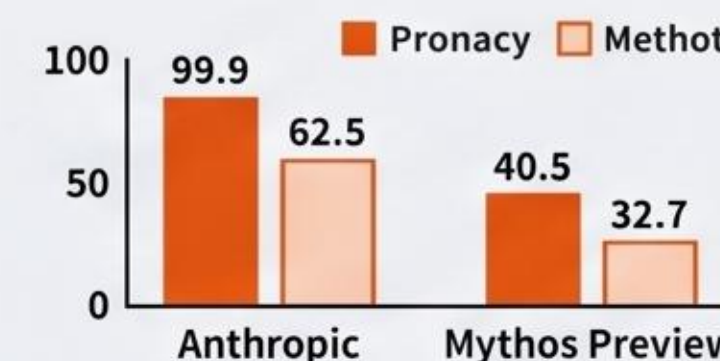
1 OpenAI GPT-5.5-Cyber — 重要インフラ防御担当者向けに段階ロールアウト



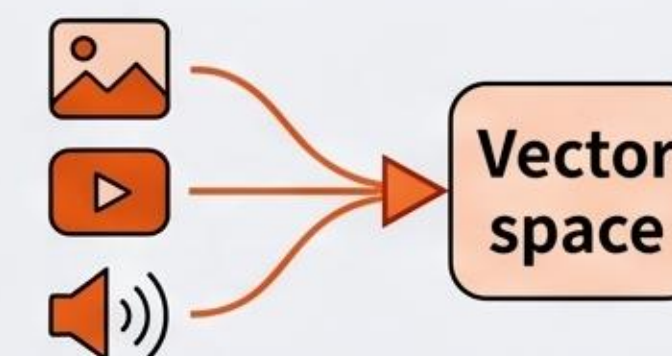
2 Cursor Security Review — Teams/Enterprise 向けに常時稼働の2系統エージェントを正式提供



3 Anthropic — sycophancy 削減論文公開、Mythos Preview が Opus 4.7 比ですらさらに半減



4 Google Gemini Embedding 2 が GA — テキスト・画像・動画・音声・文書を単一ベクトル空間へ



5 Supabase が Codex プラグインとして利用可能に



Sources

